

Revivyl

(リバイビル)

皮膚幹細胞を刺激し常在菌のバランスを整えシワを改善する

- ★ 肌の**マイクロフローラ**に着目した新スキンケア理論
- ★ 2017年In-Cosmetics Asiaにて**Gold Award**を受賞
- ★ 皮膚の**たんぱく質**を増やし、**シワ**を改善させる

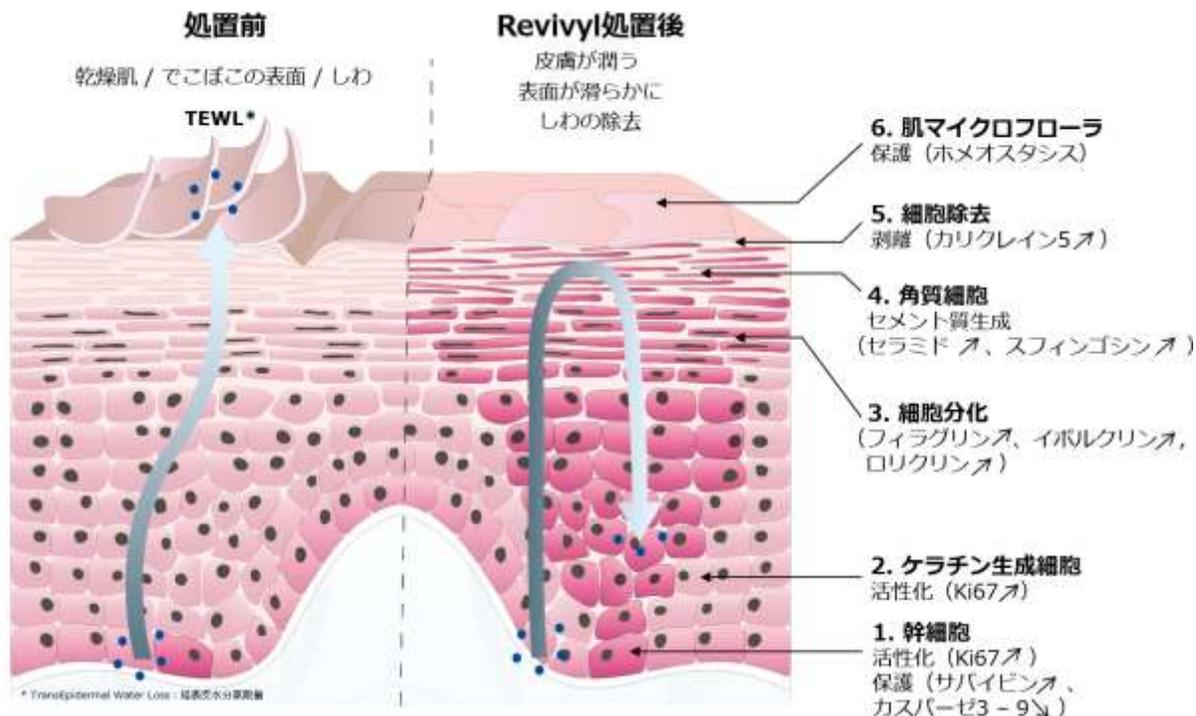
【コンセプト】

肌マイクロフローラとは、ヨーロッパを中心に皮膚の最外層に存在する表皮微生物叢が、新しい皮膚科学としてスキンケア化粧品に応用され注目されている分野。表皮の上に存在する微生物が皮膚のトラブルを防止し、潤いを保つ等の機能が解明しつつあり、微生物の種類によって皮膚の美肌効果やシワ改善なども報告されている。



日本国内でも、TV番組において“美肌菌”という言葉が使用されたり、女性誌にも“育菌”として、肌の常在菌が皮膚環境に大きく影響している事が伝えられる等、消費者にも関心が高まっている。また国内の原料サプライヤーもマイクロフローラを狙った原料開発されている事からも日本市場の注目度が伺える。

Revivyl™は、表皮幹細胞を刺激しフィラグリンやインボクリンなどのたんぱく細胞分化、セラミド産生により角質細胞の正常化、皮膚表面のマイクロフローラに働きかけ、バランスを整える事で最終的には皮膚のシワ改善効果が確認されている原料です。



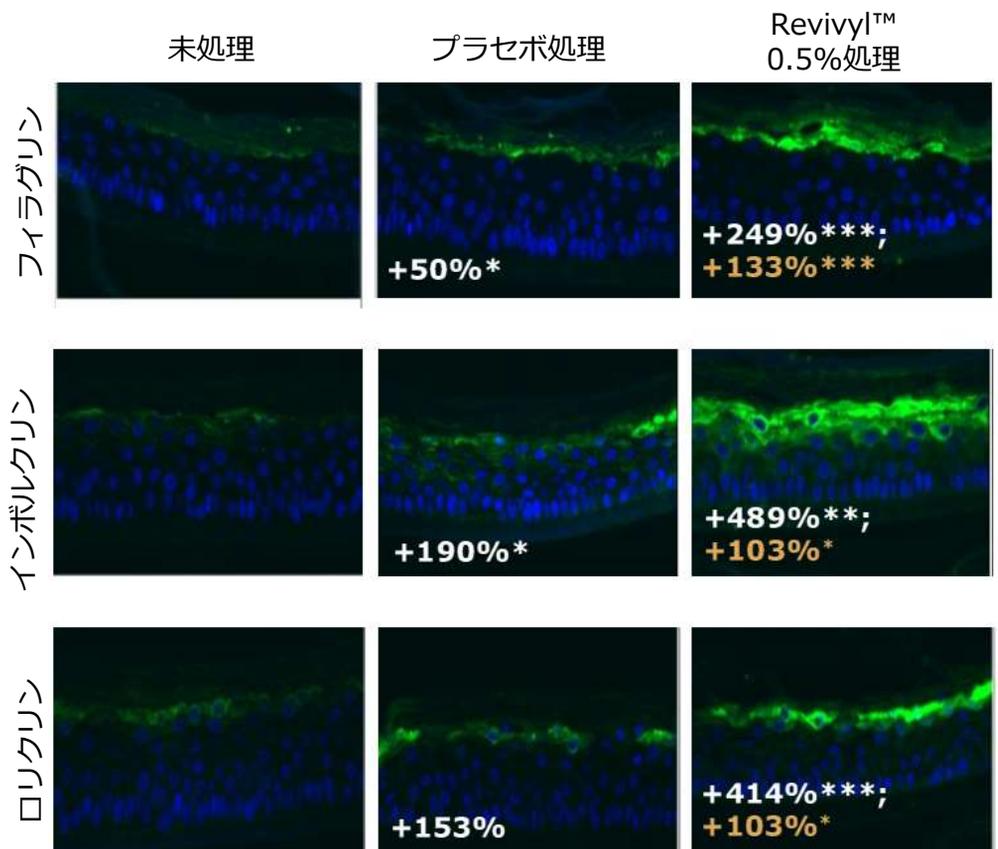
【効果・効能】

◎ Ex-vivoで表皮細胞の状態

再構築ヒト表皮 (RHE) を11日後に剥ぎ取った。2日後、Revivyl™の3種類のタンパク質への影響を免疫染色により測定。

Revivyl™は以下の通り統計的に有意に発現を誘発しました。

フィラグリン+249%
インボルクリン+489%
ロリクリン+414%



Revivyl™は表皮の分化およびバリア機能の維持において強力な役割を担います。

*** $p < 0.001$ Student's t-test vs untreated
** $p < 0.01$ Student's t-test vs untreated
* $p < 0.05$ Student's t-test vs untreated
*** $p < 0.001$ Student's t-test vs placebo
* $p < 0.05$ Student's t-test vs placebo

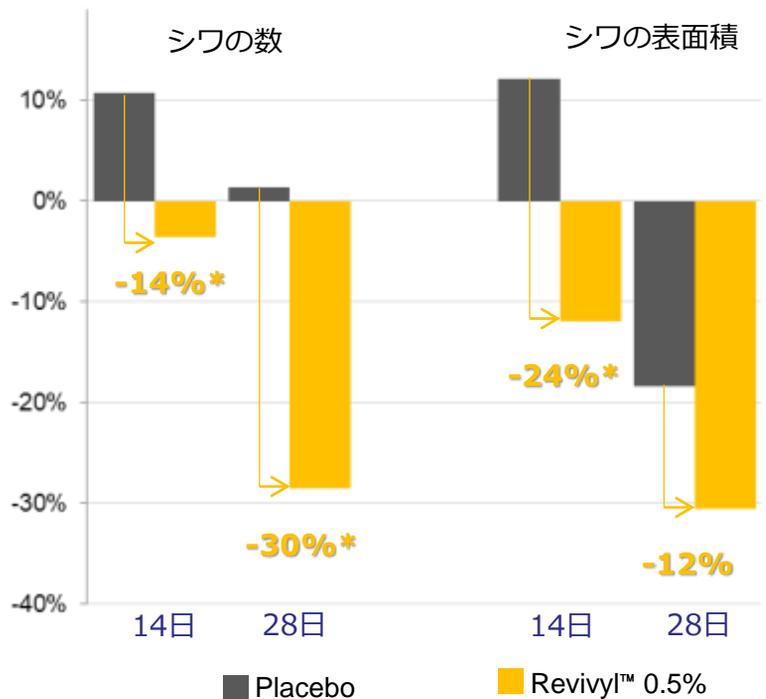
◎ 臨床試験によるシワの改善効果

プラセボを対照とした臨床評価
加齢の臨床症状 (目尻のしわ) を示している被験者15名 (35~55歳の女性、平均年齢43歳)
顔の片側にRevivyl™ 0.5%を配合した処方 を、反対側にプラセボを1日2回塗布

28日間塗布14日目、28日目にシリコンレプリカとSkin Image Analyser®を使用して皮膚レリーフを分析。

Revivyl™はシワの数を最大30%減らしました。

Revivyl™はシワの表面積を最大24%減らしました。



* $p < 0.05$ Student's t-test

【商品情報】

商品名 : Revivyl® (リバイビル)
表示名称 : オロバンケラプムエキス、プロパンジオール
推奨配合量 : 0.1~0.5%
製造元 : Givaudan

2018/12/01

これは原材料に関する成分内容の説明、科学的データの紹介等をしており、効果効果を説明、保証するものではありません。また無断使用、無断転載を禁止します。